

Message memo

- ◇タイトル 『喜びを伝える』
- ◇聖書箇所 ルカ2章1節～14節
- ◇メッセージ 西村希望師
- ◇中心聖句 ルカ2章10節

御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。見なさい。私は、この民全体に与えられる、大きな喜びを告げ知らせます。」



WITH JESUS

しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、驚のように翼をかけて上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れない。(イザヤ40:30)

Vol.37-47
2021.11.21

コロナを乗り越える！～Jesus Family 先週の活動～

◆学習塾『ドリームデザイン』

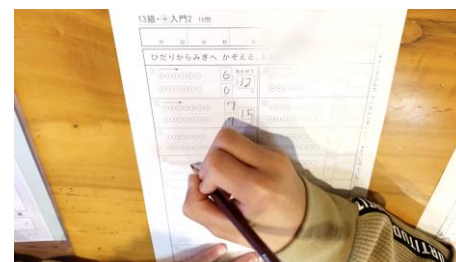
今年スタートした学習塾『ドリームデザイン』。入塾した生徒もスタート時に比べて集中力がぐんとアップしています！夏休み後は特に成長が目に見えます！毎週火曜日～木曜日、とても良い教材を用いて楽しく学んでいます！



幼児クラスの教材も充実しています



パズルなどを用いて感覚的に図形を学びます



時間を設定して1枚ずつプリントに取り組みます



楽しいからよく身に付きます！

<Vision> 聖書を土台に若者を育て、世界にリーダーを送り出す教会

100vision

LOVE IS ACTION

JESUS FAMILY CHURCH

(ジーザス・ファミリー・チャーチ)

今こそ信仰・希望・愛に生きる時！ ～感謝の証し～

●A.Fさんの証し

ビジョンセンターの玄関にミニ四駆ショップに興味をお持ちの方が来られ、その場で教会のお知らせをし、連絡先も交換する事ができました！感謝です！

JESUS FAMILY CHURCH は次世代を祝福する教会

【オンヌリ教会牧師による聖書的な子育て教室 =聖書的な価値観=】

②罪の性質を持っています

神にかたどって造られた人間は、神と交わりを自ら断ってしまいました。その結果、神から受けるべきたくさんの祝福を失ってしまいました。人間自ら不幸とのろいをもたらしたのです。その後、人間は善よりも悪に従い、罪の性質を持つようになりました。私達の愛する子どもも同じです。子どもにも罪の性質があるため、利己的、反抗的になる要素があるのです。子どもへの幻想を捨てましょう。親は子どもの不従順を正し、小さいときから子どもの反抗心を戒めなければなりません。子どもに従順と善行と利他心と呼び起こし、意志を持って教えなければなりません。神を恐れることを小さい時から意識して教え、植え付けてあげなければならないのです。

EVENTS

- ◆11月21日(日)午後 希望師 COG 川崎キリスト教会ユース礼拝メッセージ奉仕
- ◆11月28日(日) クリスマスキッズフェスティバル
- ◆12月5日(日) クリスマススペシャルワークショップ① ゲスト：アーサー・ホーランド師
- ◆12月12日(日) クリスマススペシャルワークショップ② ゲスト：遠藤正一氏

Information

【聖山高原チャペルサポート献金お振込先】

- ◆ゆうちょ銀行からのお振込
金融機関名：ゆうちょ銀行 記号：11180 番号：10138581
口座名義：聖山高原チャペル
- ◆他行からのお振込
金融機関名：ゆうちょ銀行 店名：一八 店番：118
口座種別：普通 番号：1013858 口座名義：聖山高原チャペル

【各種献金お振込先】

- ◆礼拝・仕・感謝献金・オンライン礼拝機材献金・VCカーペット献金・車両献金・クリスマス献金
金融機関名：三井住友銀行 支店名：あざみ野支店 口座種別：普通
口座番号：6730043 口座名義：ジーザス・ファミリー・チャーチ
- ◆ビジョン献金
金融機関名：横浜銀行 支店名：あざみ野支店 口座種別：普通
口座番号：1366598 口座名義：ジーザス・ファミリー・チャーチ
- ◆グレイス献金
金融機関名：きらぼし銀行 支店名：市が尾支店 口座種別：普通
口座番号：0214652 口座名義：ジーザス・ファミリー・チャーチ
- ◆キッズ献金
金融機関名：三井住友銀行 支店名：あざみ野支店 口座種別：普通
口座番号：6736029 口座名義：ジーザス・ファミリー・チャーチ

祝福タイムズ

セラピードッグについて

牧師 財部瑞希

『セラピードッグ』をご存知でしょうか？私は先週知りました。きっかけは、息子満彦の入院でした。

今回の入院とカテーテル治療は聖マリアンナ医科大学病院でした。

聖マリアンナ医科大学病院で行われている『セラピードッグ 動物介在療法』について紹介させてください。

病院で導入するきっかけとなったのは、小児科で長期入院していた女の子でした。「犬に会いたい」とある団体に手紙を書いたことから始まりました。女の子の思いをかなえたい、病気と闘っている子どもたちの笑顔が見たい、このような思いからでした。2015年、動物介在療法が正式に導入されるまで、3年半かかりました。

実践としては、2015～2018年まで20診療科、17病棟より年間40件以上の依頼に対応しました。その目的の多くは闘病意欲の向上、リハビリのサポート、疼痛の軽減、情緒的安定、精神機能の維持などです。小児では、手術の不安を軽減する目的で手術室まで同行し麻酔で眠るまで見守ります。

聖マリアンナ医科大学病院の動物介在療法は、医師の指示のもと動物介在療法(Animal Assisted Therapy; AAT)を展開し、重い病と闘う患者および、その家族に情緒的安定や、闘病意欲の向上を促進させる事を目的としています。患者個々に目を向けた、きめ細やかな治療を行う事により、病院の目指す”愛ある医療”実践の一端を担っています。

病院によって治療法があり、色んな治療法があるんだなと今回気づかされました。病気やリハビリ等、戦い抜くことは難しくなる時があります。そんな時にセラピードッグが闘病意欲を向上させてくれたり、リハビリ意欲を向上させてくれたらとても良いことだと思いました。